

彦根市事業系廃棄物アンケート調査集計報告(平成21年度)

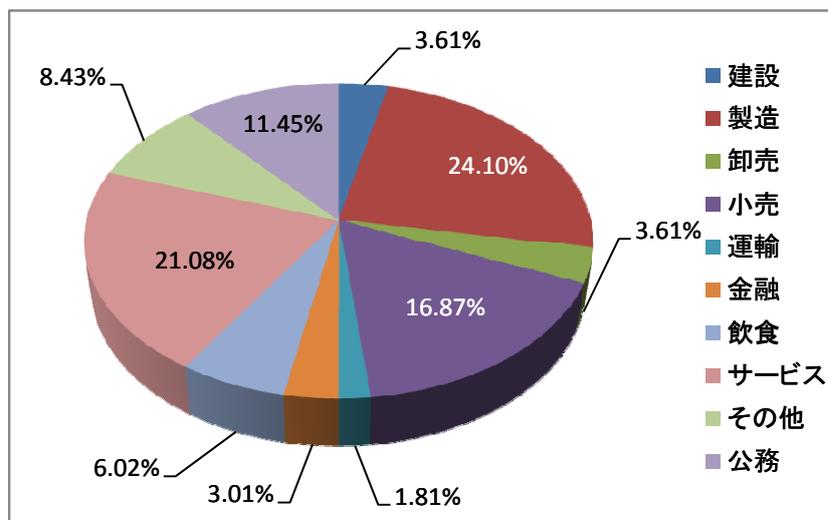
平成22年度8月集計

彦根市は、市内における事業所に対し、平成21年度3月に廃棄物に係るアンケート調査を行いました。アンケートは市内大規模小売店舗、公害防止協定締結工場、タウンページ職業別にて無作為に抽出した500事業所に依頼し、166事業所より回答がありました。この集計結果はそのアンケートをまとめたものです。

問1 貴社についてうかがいます。(回答数/回答事業所数)

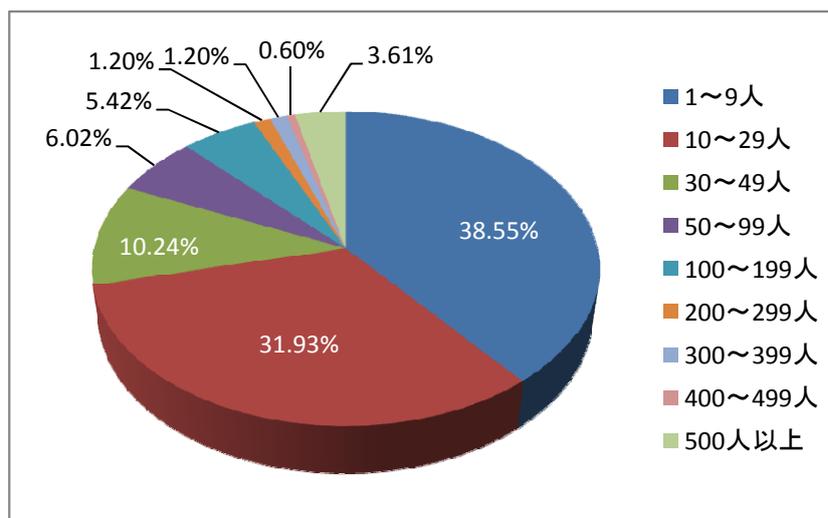
(ア)貴社の業種は

業種	回答数	割合
建設	6	3.61%
製造	40	24.10%
卸売	6	3.61%
小売	28	16.87%
運輸	3	1.81%
金融	5	3.01%
飲食	10	6.02%
サービス	35	21.08%
その他	14	8.43%
公務	19	11.45%
計	166	99.99%



(イ)貴社の従業員数は

従業員数	回答数	割合
1~9人	64	38.55%
10~29人	53	31.93%
30~49人	17	10.24%
50~99人	10	6.02%
100~199人	9	5.42%
200~299人	2	1.20%
300~399人	2	1.20%
400~499人	1	0.60%
500人以上	6	3.61%

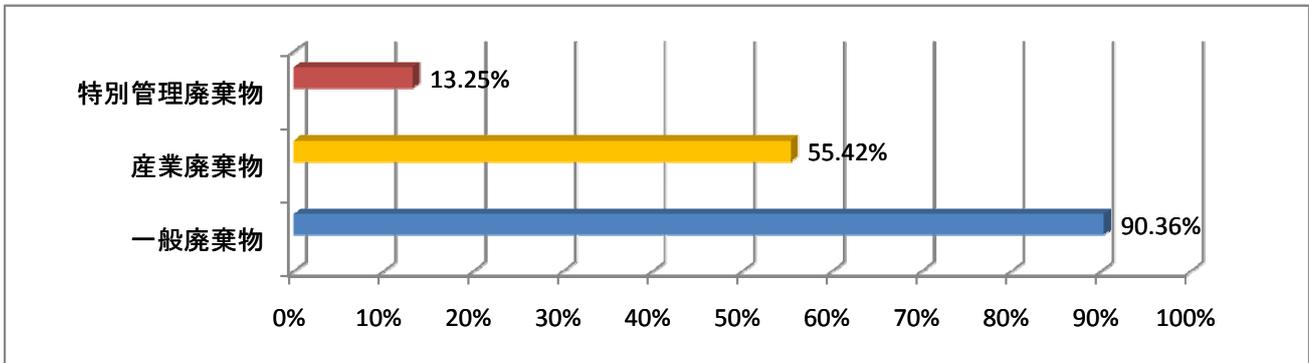


問2 貴社の廃棄物について

(ア)貴社で発生する廃棄物の種類は(回答数/回答事業所数)

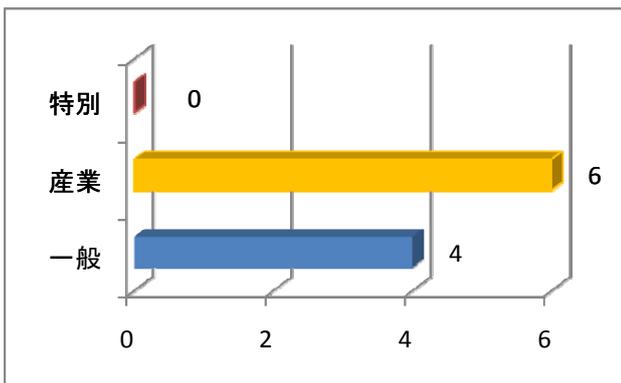
区分	種類	回答数	割合
①	一般廃棄物	150	90.36%
②	産業廃棄物	92	55.42%
③	特別管理廃棄物	22	13.25%

全業種廃棄物構成

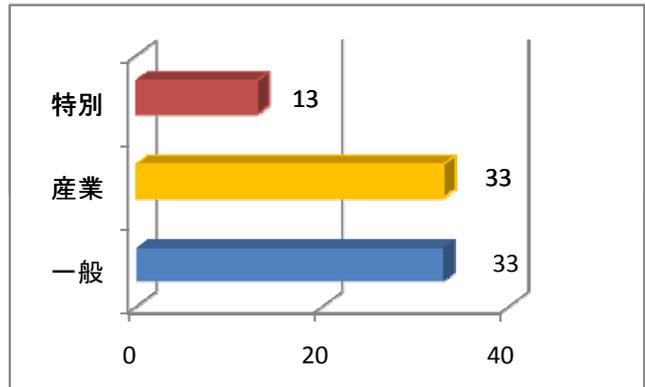


各業種別廃棄物構成 (回答数)

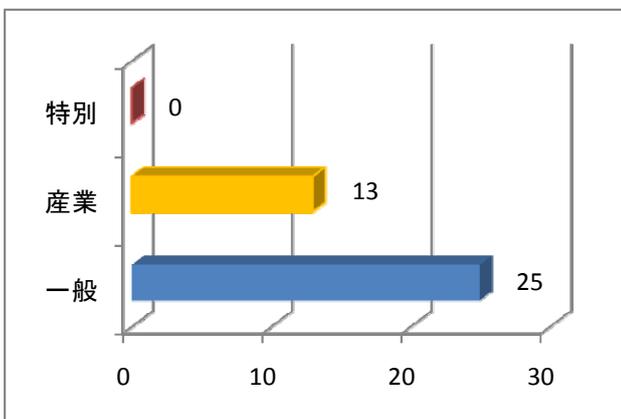
建設



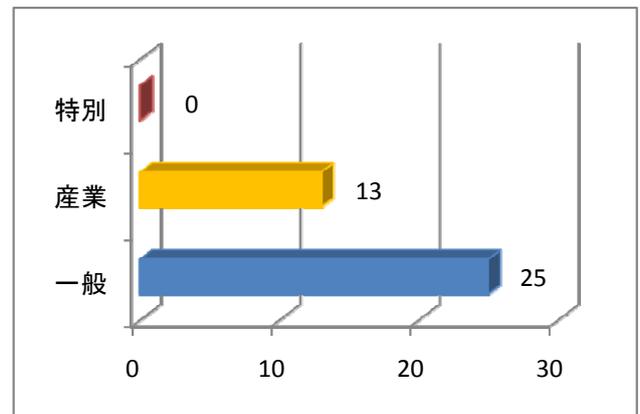
製造



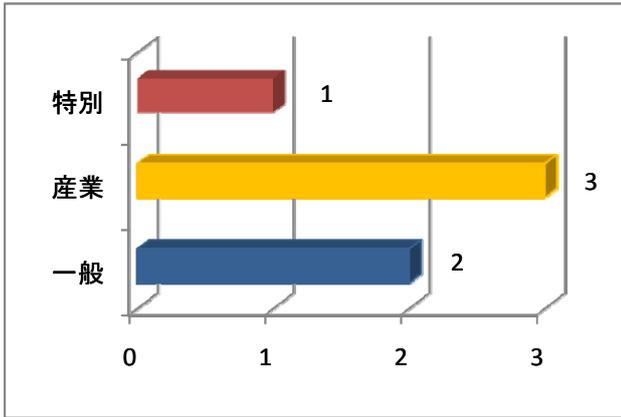
卸売



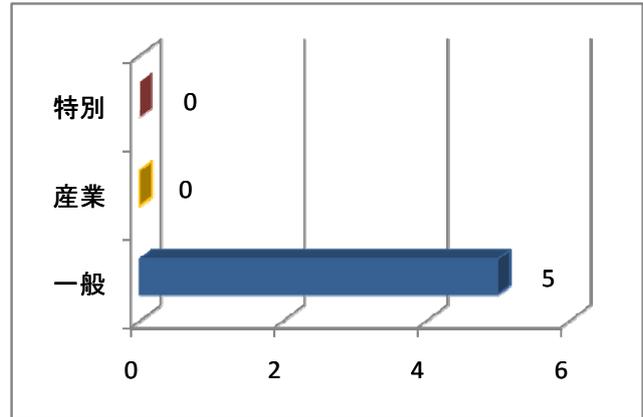
小売



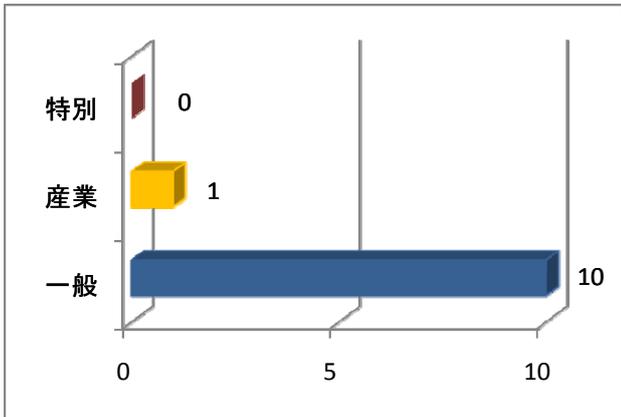
運輸



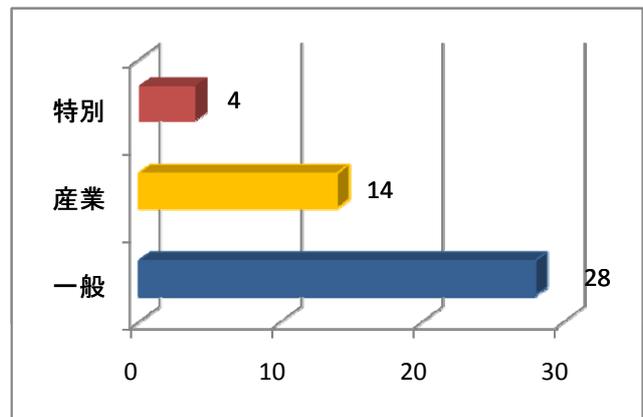
金融



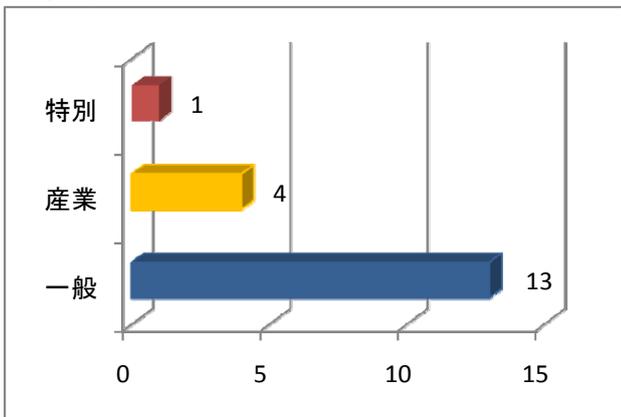
飲食



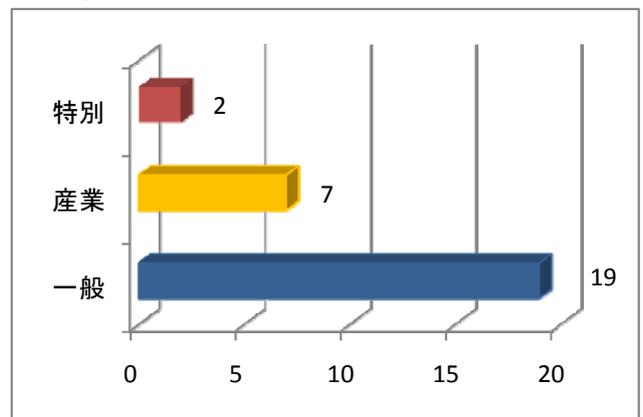
サービス



その他



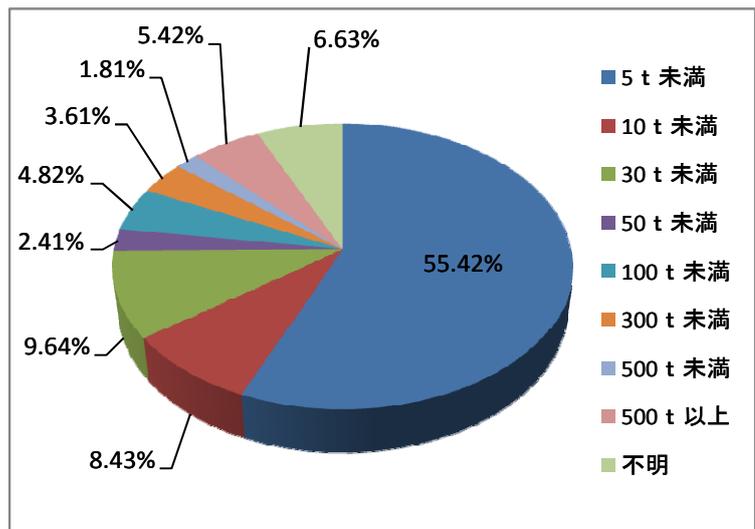
公務



(イ) 廃棄物の年間発生量は(総排出量)

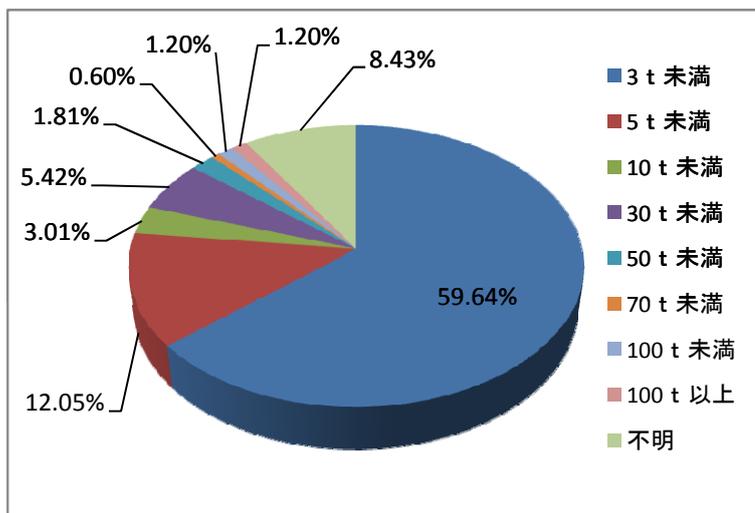
(回答数/回答事業所数)

区分	排出量	回答数	割合
①	5t未満	92	55.42%
②	10t未満	14	8.43%
③	30t未満	16	9.64%
④	50t未満	4	2.41%
⑤	100t未満	8	4.82%
⑥	300t未満	6	3.61%
⑦	500t未満	3	1.81%
⑧	500t以上	9	5.42%
⑨	不明	11	6.63%



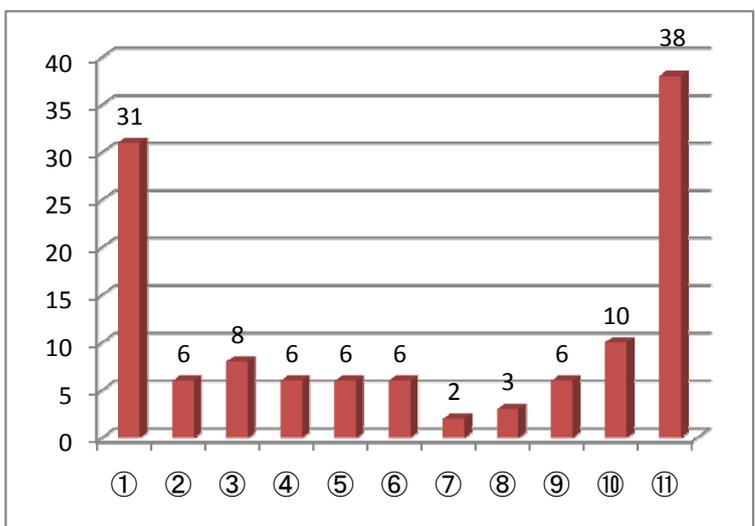
(ウ) 上記(イ)のうち一般廃棄物の発生量は(※総排出量に対する一般廃棄物の割合)

区分	排出量	回答数	割合
①	3t未満	99	59.64%
②	5t未満	20	12.05%
③	10t未満	5	3.01%
④	30t未満	9	5.42%
⑤	50t未満	3	1.81%
⑥	70t未満	1	0.60%
⑦	100t未満	2	1.20%
⑧	100t以上	2	1.20%
⑨	不明	14	8.43%



(エ) 上記(イ)のうち一般廃棄物の割合は

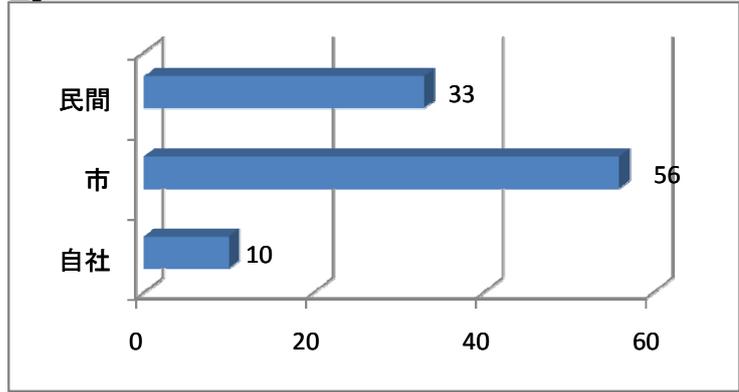
区分	割合	回答数
①	0~9%	31
②	10~19%	6
③	20~29%	8
④	30~39%	6
⑤	40~49%	6
⑥	50~59%	6
⑦	60~69%	2
⑧	70~79%	3
⑨	80~89%	6
⑩	90~99%	10
⑪	100%	38
計		122



(オ)-1 一般廃棄物の処理形態「自己処理」

区分	処理方法	回答数
①	自社	10
②	市	56
③	民間	33

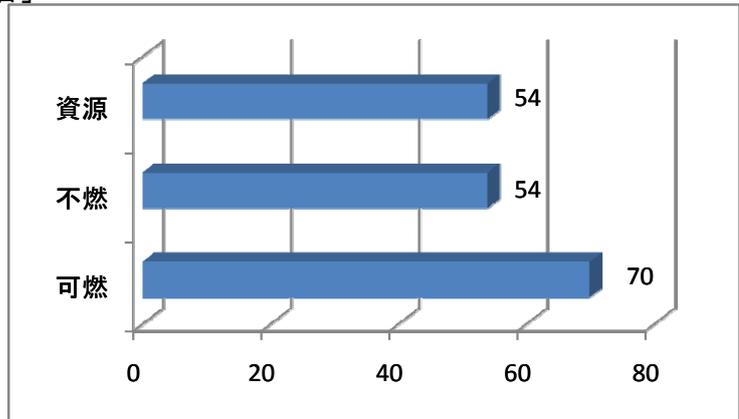
- ① 自社焼却処理
- ② 清掃センターへ搬入
- ③ 民間業者へ搬入



(オ)-2 一般廃棄物の処理形態「処理業者」

区分	処理依頼	回答数
①	可燃	70
②	不燃	54
③	資源	54

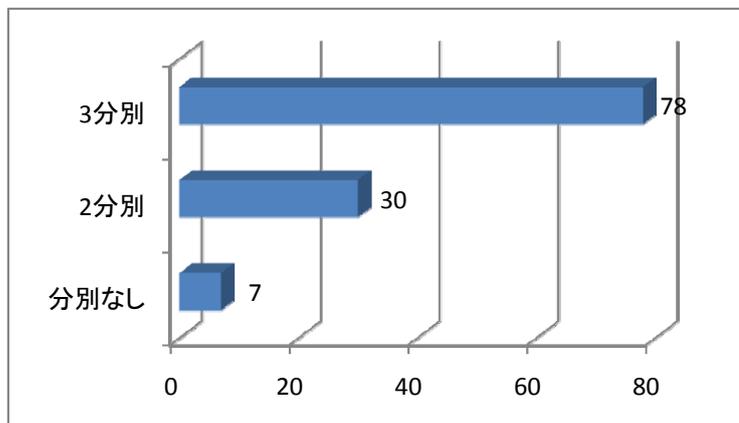
※ 委託業者へ収集処分依頼



(オ)-3 一般廃棄物の処理方法

区分	分別	回答数
①	分別なし	7
②	2分別	30
③	3分別	78

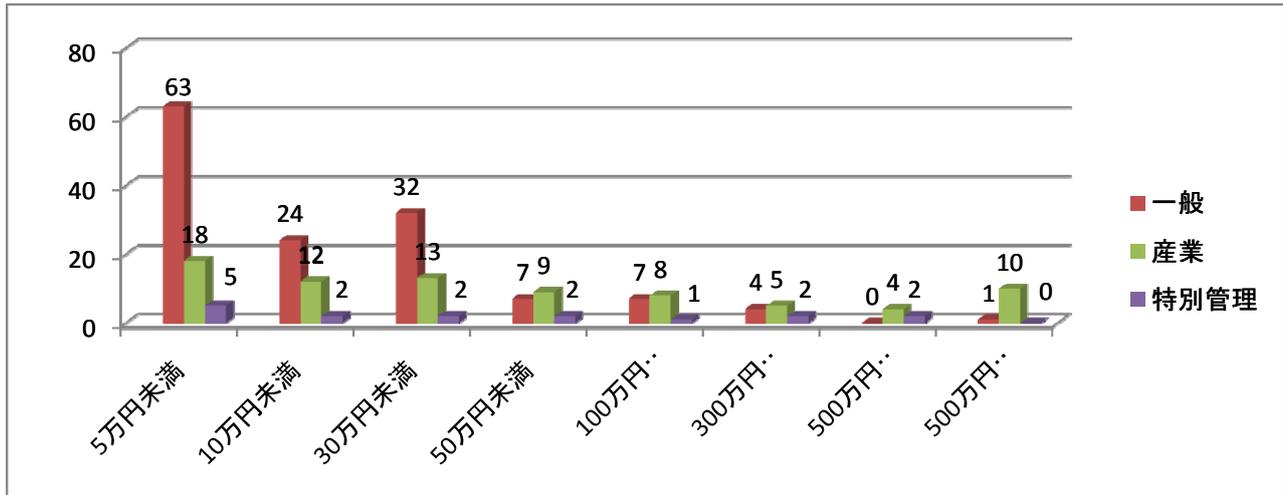
- ※ ① 分別なし
- ② 可燃、不燃
- ③ 可燃、不燃、資源



※ 問(オ)-2、3の不燃とは、その相当部分が産業廃棄物に区分されるのではないかと考えられます。産業廃棄物は、清掃センターでは処理できません。民間の産業廃棄物処理業者へ依頼していただくこととなります。

(カ) 貴社のごみ処理費用は(年間)

区分	処理費用	一般	産業	特別管理
①	5万円未満	63	18	5
②	10万円未満	24	12	2
③	30万円未満	32	13	2
④	50万円未満	7	9	2
⑤	100万円未満	7	8	1
⑥	300万円未満	4	5	2
⑦	500万円未満	0	4	2
⑧	500万円以上	1	10	0



(キ) 具体的な減量化、リサイクル例

- 1 茶がら、吸いがら、マスク、紙コップ等細分別化し再生ルートへ
- 2 書類等のシュレッダーにかけられるものは、ビニール袋に詰め出荷時の時の荷物のクッション材として再利用
- 3 資源(段ボール、トイレtpーパー、古紙)回収
- 4 廃シンナー等は、業者に依頼しリサイクル
- 5 廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクル
- 6 生ごみ処理機により、肥料として再利用
- 7 食品残渣を直接酪農家へ引き渡し

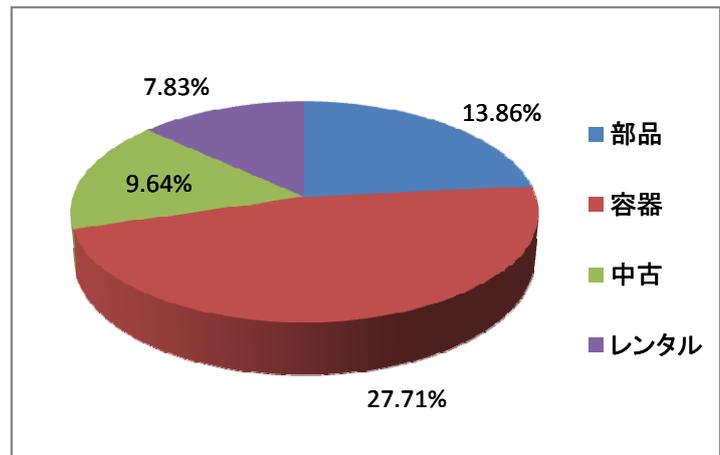
(ク) 廃棄物の減量化に努めていますか

	はい	いいえ	無回答
回答数	117	4	45

(ケ)-1 3Rはどんな方法ですか(再使用)

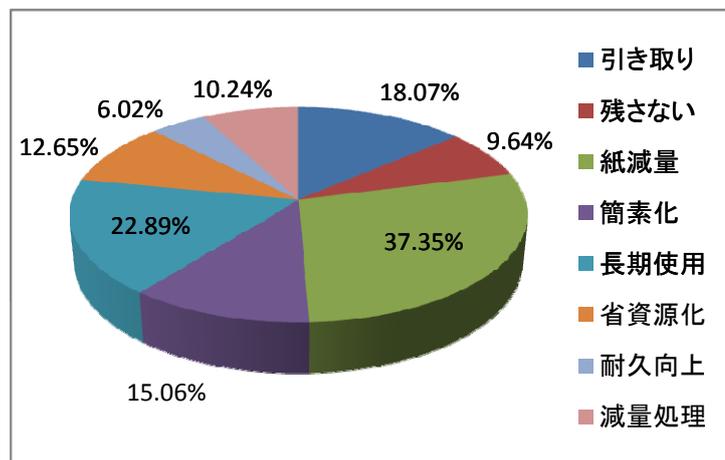
(回答数/回答事業所数=割合)

区分	リユース	回答数	割合
①	部品	23	13.86%
②	容器	46	27.71%
③	中古	16	9.64%
④	レンタル	13	7.83%



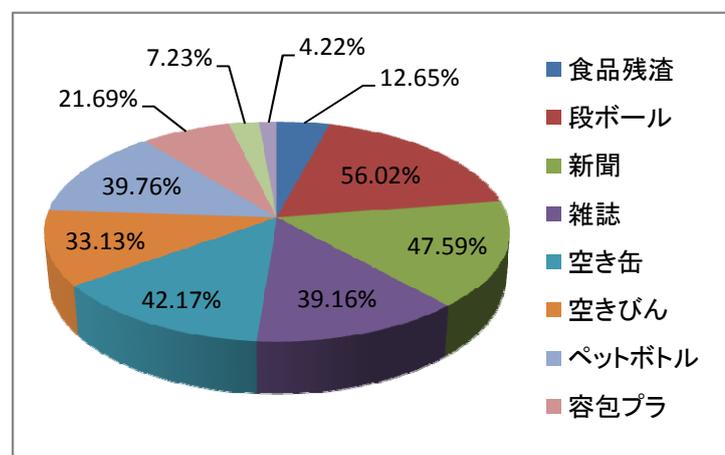
(ケ)-2 (廃棄物の発生抑制)

区分	リデュース	回答数	割合
①	引き取り	30	18.07%
②	残さない	16	9.64%
③	紙減量	62	37.35%
④	簡素化	25	15.06%
⑤	長期使用	38	22.89%
⑥	省資源化	21	12.65%
⑦	耐久向上	10	6.02%
⑧	減量処理	17	10.24%



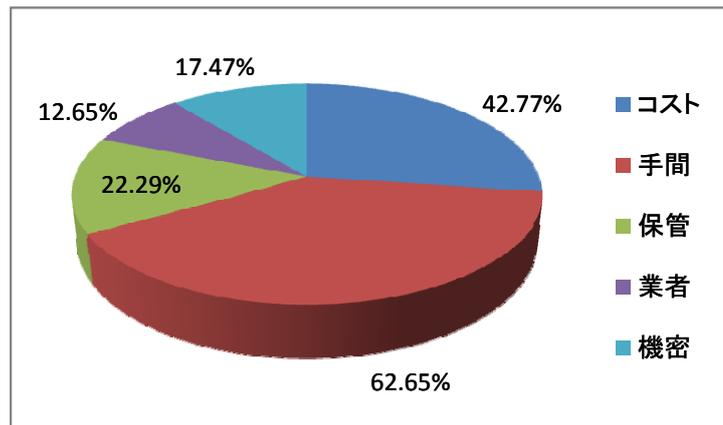
(ケ)-3 (再生利用、再資源化)

区分	リサイクル	回答数	割合
①	食品残渣	21	12.65%
②	段ボール	93	56.02%
③	新聞	79	47.59%
④	雑誌	65	39.16%
⑤	空き缶	70	42.17%
⑥	空きびん	55	33.13%
⑦	ペットボトル	66	39.76%
⑧	容包プラ	36	21.69%
⑨	古繊維	12	7.23%
⑩	その他	7	4.22%



(コ) 減量化に障害となるものはなんですか

区分	障害	回答数	割合
①	コスト	71	42.77%
②	手間	104	62.65%
③	保管	37	22.29%
④	業者	21	12.65%
⑤	機密	29	17.47%



(サ) 機密文書はどのように処理していますか

(サ)-1

燃やしている 直接搬入

処理方法	自社焼却炉	清掃センター
回答数	4	44

(サ)-2

シュレッダー後焼却

処理方法	自社焼却炉	清掃センター
回答数	6	85

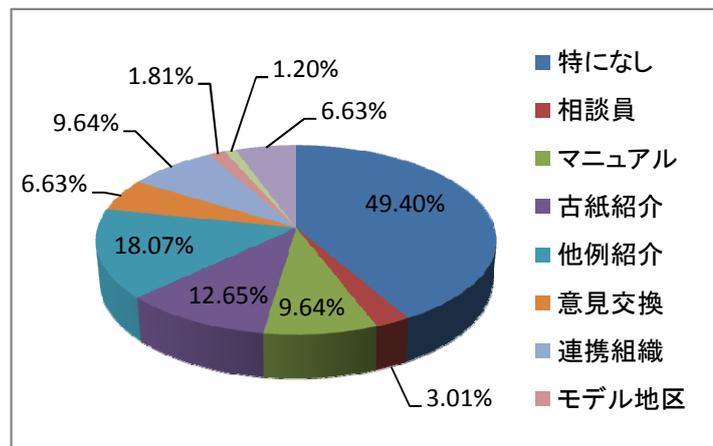
(サ)-3

燃やさずリサイクル

処理方法	再生紙	減容成形	固形燃料	宅急便リサイクルサービス	その他(クッション材へ)
回答数	33	1	14	3	9

(シ) 事業系廃棄物減量化の取り組みを促進するための支援は

区分	支援策	回答数	割合
①	特になし	82	49.40%
②	相談員	5	3.01%
③	マニュアル	16	9.64%
④	古紙紹介	21	12.65%
⑤	他例紹介	30	18.07%
⑥	意見交換	11	6.63%
⑦	連携組織	16	9.64%
⑧	モデル地区	3	1.81%
⑨	新事業	2	1.20%
⑩	その他	11	6.63%



(ス)上記(シ)取り組み支援策を具体的に

- 1 市内外の事業所で行っているリサイクル例の紹介。
- 2 減量化効果を上げている事業所の取組事例の紹介。
- 3 自社の参考とするため、埋立て・焼却できない産業廃棄物についてリサイクル方法を相談員または専門員に教えてもらいたい。
- 4 他事業所との情報交換や連携組織の構築。
- 5 彦根市ホームページによる、減量・資源化事例や、リサイクルに関するアドバイス等の掲載。
- 6 減量化に向けて生ごみ処理機の購入を検討中、事業所に対しても市の補助金を。
- 7 一般廃棄物・産業廃棄物等種類、処理方法、処分先の紹介。
- 8 不要(廃棄物)とする者と、必要(有価物)とする者の連携組織の構築。
- 9 廃棄物に関する研修の実施。
- 10 再生使用品のマーケット拡大、市民に対し利用促進を呼びかけ。
- 11 減量化の手順マニュアルの作成配布。
- 12 エコアクション21環境経営システムを導入し、食品リサイクルならびに総廃棄物排出量の削減に取り組んでいる。審査員に積極的に削減方法を相談し提言をいただいている。また分別を徹底して行いリサイクル率の向上に努めている。

(セ)市へのご意見、ご感想を

- 1 企業だけの取組にも限界がある。行政の支援をお願いします。
- 2 産業廃棄物処理を支援していただきたい。
- 3 分別方法の簡素化を望む。
- 4 市民参加の分別回収を徹底することで、ごみ分別優良自治体を目指してください。
- 5 彦根市清掃センターの焼却炉の更新、サーマルエネルギーができるような設備に更新して頂きたい。
- 6 循環型社会を目指し、保・小・中・高一貫教育を実現してください。風力・太陽光発電の設備を充実させて他府県との差別化を図って彦根をアピールしてください。

など貴重なご意見をいただき有難うございました。

また、アンケート質問に対する説明不足についてお叱りのお声もありましたことお詫び申し上げます。この調査は、事業系一般廃棄物の適正処理および減量化・資源化の推進に資する知見を明らかにすることを目的に実施したものであります。

市は、このアンケート調査を基に、今後の本市施策の参考資料として、市民、市民団体、事業所が行う活動が促進されるように、体制の整備、情報の提供、その他の必要な措置を講じるためまた、一般廃棄物処理計画のための基礎データとして活用することを目的とし、今回の事業系一般廃棄物アンケート調査の結果報告をさせていただきます。